

川に ごみ を捨てないで



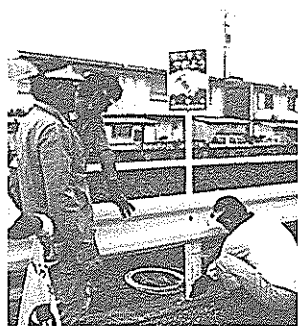
の清掃を週2回定期的に行っています。

その結果、以前に比べてごみの量はだいぶ減ってきましたが、それでもまだ川には大量のごみが浮かんでいます。ごみの種類は、空き缶、スーパリーの袋、発泡スチロールのトレイ、古タイヤ、食用油の容器など、ほとんどが家庭で出るごみ。あなたも軽い気持ちで川に物を投げ捨てていませんか。

市街地を流れる舟入川と藻川

、昔からこの川は、住民に親しまれ、子供たちの遊び場にもなった川でした。ところが、都市化が進むにつれて、だんだんと川にごみが浮かび始め、水質も悪くなり、「ごみの川」と呼ばれるように。

このような状況を改善しようと、南国市では、地元住民の協力で、年1回舟入川の清掃を、さらに、2年前からは、地元と業者に委託して、舟入川と藻川

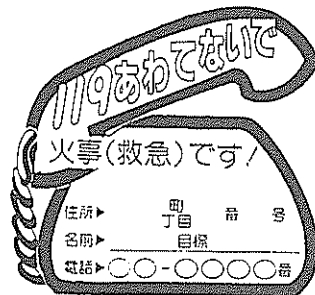


【生活環境課】

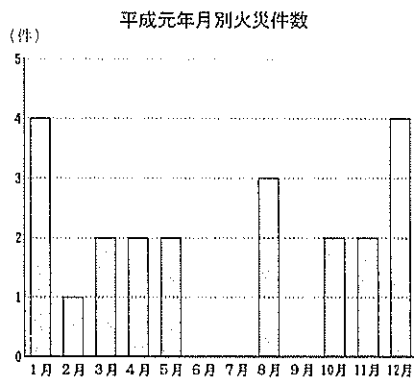
地球規模の環境破壊が叫ばれている今日、まず身近な川の環境浄化から始めてください。

まず消そう 火への鈍感 無関心

秋の火災予防運動



本格的な冬の火災シーズンを前に、11月9日から15日までの1週間、全国一斉に「秋の火災予防運動」が実施されます。平成元年に市内では22件の火災が発生、建物など9千400万6千円が灰になり、1人の方が亡くなりました。11月から3月にかけては空気



「救急」かを、次に大きな目標物と場所、火事の場合は「何がどれくらい燃えているか」、救急の場合は「事故」か「救急」か、そしてあなたの名前と電話番号を伝えてください。

万一火事が起きた場合は、被害を最小限にとどめるため、「119番」は落ち着いて正確に。

なお、「66局」の番号の電話をお持ちの方は、高知消防局通信室にかかります。「南」に回してくれるように頼み、電話を切らずに待ってください。

が乾燥するうえ、暖房器具を使うため、1年のうちで最も火災の多い季節。昨年も1年間に起きた火災のうち70%以上がこの時期に発生しています。たばこの火やたき火の不始末など、あなたのちょっとした油断で火事にならないように注意して、尊い生命と貴重な財産を守りましょう。

119番の心得
また、9日は「119番の日」。「119番」は、皆さんと消防を結ぶ信頼の緊急電話番号です。通報するときは、まず「火事」か

過去10年の火災件数と損害額

